



JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

---

# 決算説明会

— 2015年3月期第2四半期 —

株式会社JSP

# 本日の出席者

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

取締役社長 塚本 耕三

第一事業本部長	小野 秀夫
第二事業本部長	臼井 宏
研究開発本部長	及川 泰男
経理財務本部長	鈴木 高德
総務人事本部長	斉藤 吉成
経営企画本部長	近藤 正

1. 2015年3月期第2四半期決算概要  
(以下、2014年度上期)
2. 2015年3月期決算見通し  
(以下、2014年度見通し)
3. 2015年3月期第2四半期決算補足  
(以下、2014年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新製品の紹介

# 決算概況

2014年度上期

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	13年上期 実績	14年上期 公表	14年上期 実績	前年 同期比	公表比
売上高	54,465	57,500	58,266	107%	101%
営業利益	2,798	3,100	2,673	96%	86%
経常利益	3,095	3,200	2,936	95%	92%
四半期純利益	2,278	2,300	2,157	95%	94%

- 円安の進行 ¥102.2/\$ (13年上期 ¥95.9/\$)
- 国内は原燃料価格・動力費・輸送費の上昇  
消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減
- 北米は記録的な寒波の影響で景気は一時的に停滞したがその後回復
- 欧州は緩やかな回復基調で推移
- 中国は成長率鈍化するがアジア全体としては高い成長を維持

# 押出事業

2014年度上期

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2013年度上期 実績	2014年度上期 実績	前年 同期比
売上高	18,798	20,009	106%
営業利益	898	698	78%

原燃料価格・動力費・輸送費の上昇と消費税等増税後の反動による内需縮小で減益

- 産業用包装材・ディスプレイ材

「ミラマット」液晶テレビガラス基板・大型家電の需要減で売上減少

「キャプロン」自動車部品包装材等の用途拡大で売上増加

「ミラボード」景気回復に背景に企業向けディスプレイ材需要増で売上前年並み

- 食品包材・容器

「スチレンペーパー」堅調な需要に支えられ売上増加

- 住宅用断熱材・土木資材

「ミラフォーム」住宅・マンション着工件数減で売上減少、復興需要で土木売上増加

(単位:百万円)

項目	2013年度上期 実績	2014年度上期 実績	前年 同期比
売上高	33,034	34,953	106%
営業利益	2,179	2,289	105%

EPPは自動車部品採用拡大で好調維持、EPSは売上前年並み

- 自動車衝撃緩衝材、家電製品緩衝材用途の「ピーブロック」(英名 ARPRO)  
 日本:軽自動車の需要拡大、自動車・家電向け需要が低調で売上減少  
 北米:寒波の影響により自動車販売が落ち込むがその後回復し売上増加  
 南米:景気悪化による自動車販売台数の減少で売上減少  
 欧州:景気回復による自動車部品の需要増で売上増加  
 アジア:自動車・家電市場が依然高い成長を維持し売上増加
- 魚箱、家電製品緩衝材、住宅用断熱材用途の「スチロダイア」  
 天候不順で水産・農林分野は低調、建材・家電分野が堅調で売上前年並み

# その他

2014年度上期

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	2013年度上期 実績	2014年度上期 実績	前年 同期比
売上高	2,632	3,303	125%
営業利益	△17	△30	—

国内は新分野への拡販が寄与、中国は新規梱包材の採用が決定

- 国内一般包材  
ベッド芯材等の新分野への拡販で売上増加
- 中国一般包材  
液晶テレビ向けに新規梱包材の採用で売上増加

# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期第2四半期決算概要  
(以下、2014年度上期)
2. 2015年3月期決算見通し  
(以下、2014年度見通し)
3. 2015年3月期第2四半期決算補足  
(以下、2014年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新製品の紹介



# 決算概要

2014年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	14/上 実績	14/下 予想	14年度 見通し	14年4月 公表	前年比	公表比
売上高	58,266	57,234	115,500	117,000	103%	99%
営業利益	2,673	3,327	6,000	7,100	102%	85%
経常利益	2,936	3,264	6,200	7,200	95%	86%
当期純利益	2,157	2,043	4,200	4,900	95%	86%

下期予想:海外は好調を維持、国内は価格是正進展と原燃料市況改善で収益回復基調

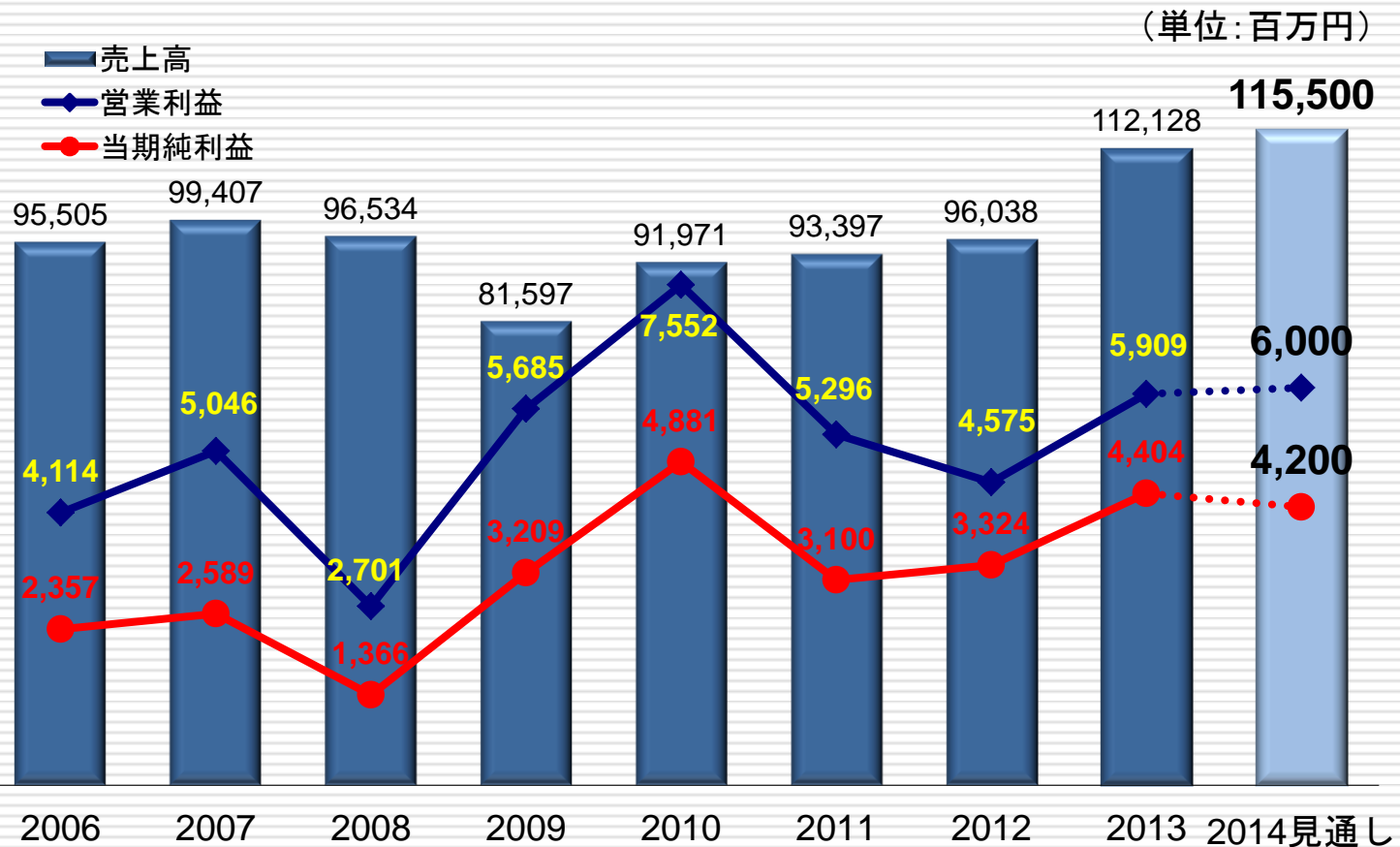
- 為替レート ￥104/\$ (上期 ￥102.2 下期 ￥106.4)
- ドバイ原油 \$96/BL (上期 \$104 下期 \$88)
- 1株当たり配当金
 

中間配当金 15円	}	年間配当額 30円(予想)
期末配当金 15円(予想)		

# 連結業績の推移

2014年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams



# 押出事業

2014年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	14/上 実績	14/下 予想	14年度 見通し	14年4月 公表	前年比	公表比
売上高	20,009	19,672	39,681	40,285	100%	99%
営業利益	698	720	1,418	2,039	74%	70%

2014年度下期 重点施策 高付加価値品の販売に注力



食品包材・容器  
「スチレン  
ペーパー」



産業用包装材  
「ミラマット」  
「キャプロン」  
「Pボード」  
「ミラボード」



住宅用断熱材  
土木資材  
「ミラフォーム」

- 新規グレードの拡販  
コアライト(低発泡品)  
PSP木目

- スマホ・タブレット市場開拓  
更なる薄肉化技術の確立
- 新用途開拓による増販

- 高断熱性能ミラフォームへ拡販
- ウォールブロック拡販

# ビーズ事業

2014年度見通し

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

項目	14/上実績	14/下予想	14年度見通し	14年4月公表	前年比	公表比
売上高	34,953	34,285	69,238	68,934	103%	100%
営業利益	2,289	2,884	5,173	5,728	114%	90%

2014年度下期 重点施策 国内:自動車部品採用拡大、海外:更なる事業拡大



自動車衝撃緩衝材  
家電製品緩衝材  
「ピーブロック」  
(英名ARPRO)

- グローバル展開加速
- 自動車部品の採用拡大



魚箱、家電製品緩衝材、  
住宅用断熱材、土木資材  
「スチロディア」

- 住宅用断熱材及び  
土木分野の拡販に注力



# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期第2四半期決算概要  
(以下、2014年度上期)
2. 2015年3月期決算見通し  
(以下、2014年度見通し)
3. 2015年3月期第2四半期決算補足  
(以下、2014年度上期補足)
4. 新工場建設・開発製品・新製品の紹介

# 経営成績

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

単位は百万円、(%)は対前期増減率

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
2014年度上期	58,266 (7.0%)	2,673 (Δ4.5%)	2,936 (Δ5.1%)	2,157 (Δ5.3%)
2013年度上期	54,465 (13.1%)	2,798 (Δ1.1%)	3,095 (5.2%)	2,278 (12.8%)

包括利益 : 2014年度上期 1,386百万円(25.8%)      2013年度上期 5,384百万円(140.5%)

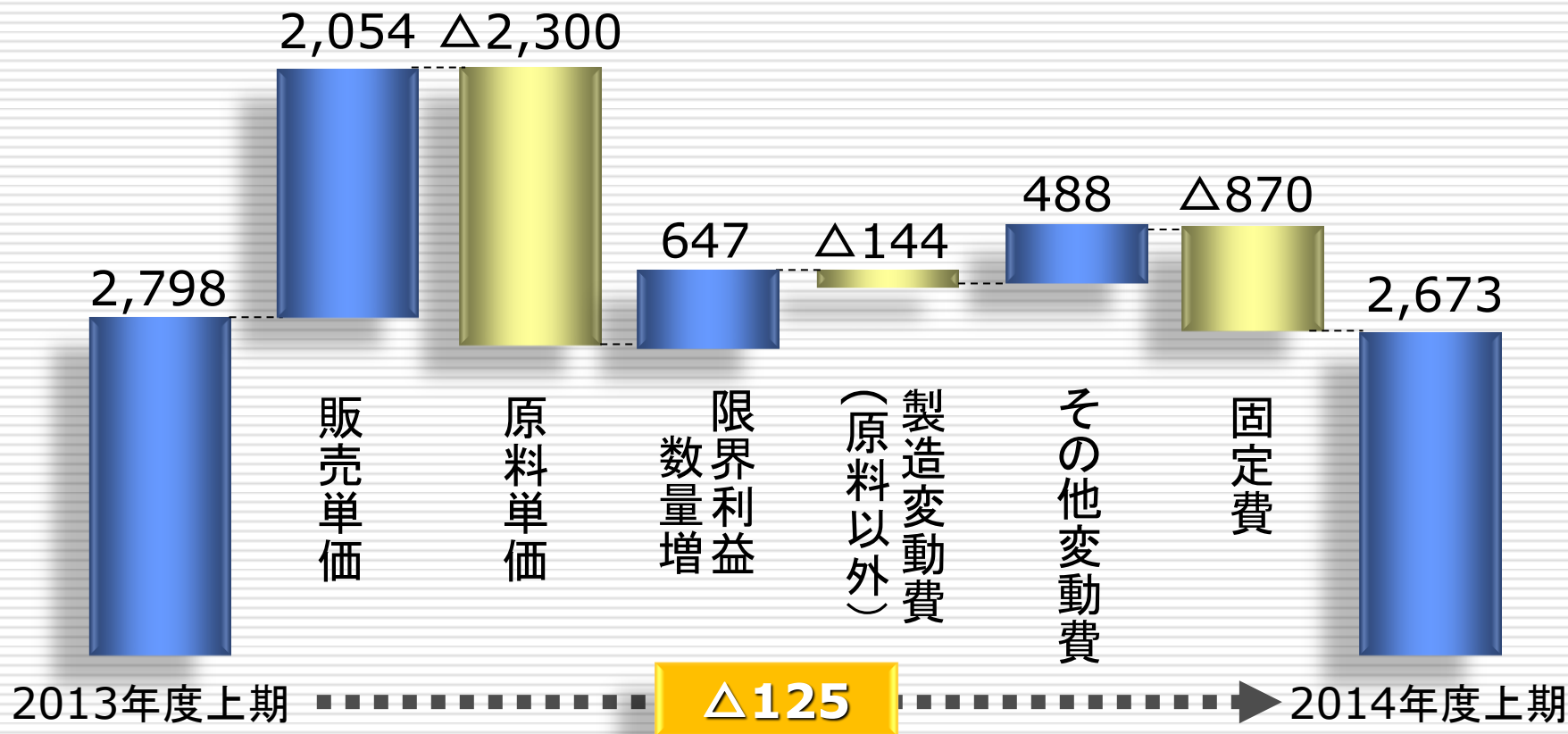
	1株当たり 四半期純利益	自己資本 四半期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
2014年度上期	72円36銭	3.6%	2.7%	4.6%
2013年度上期	76円42銭	4.2%	3.0%	5.1%

# 営業利益の増減要因

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位: 百万円)



# 営業外損益・特別損益

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 営業外損益

(単位:百万円)

科 目	13/上	14/上
受取利息	97	110
為替差益	122	104
貸倒引当金戻入額	0	14
その他	242	183
<b>営業外収益合計</b>	<b>463</b>	<b>412</b>
支払利息	108	97
持分法による投資損失	1	3
その他	55	49
<b>営業外費用合計</b>	<b>166</b>	<b>149</b>

## 特別損益

(単位:百万円)

科 目	13/上	14/上
固定資産売却益	34	3
投資有価証券売却益	12	30
<b>特別利益合計</b>	<b>46</b>	<b>33</b>
固定資産除却損	22	22
<b>特別損失合計</b>	<b>22</b>	<b>22</b>



# 財政状態

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
2014年度上期末	109,588	63,757	54.0%	1,983円51銭
2013年度末	108,420	62,375	53.4%	1,940円48銭

(参考)自己資本 2014年上期末59,135百万円 2013年度末57,853百万円

# 貸借対照表

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

分類	科目	2013年度末	2014年度上期末	増減額
資産の部	流動資産	59,255	60,099	844
	固定資産	49,164	49,488	323
	資産合計	108,420	109,588	1,167
負債の部	流動負債	32,404	31,906	△498
	固定負債	13,639	13,924	284
純資産の部	株主資本	58,780	60,976	2,195
	その他包括利益累計	△926	△1,840	△913
	少数株主持分	4,522	4,621	99
	負債純資産合計	108,420	109,588	1,167

# 純資産の部

2014年度上期補足

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(単位:百万円)

科 目	2013年度末	2014年度上期末	増減額
資本金	10,128	10,128	—
資本剰余金	13,405	13,405	—
利益剰余金	36,621	38,817	2,196
自己株式	△1,374	△1,375	△0
株主資本合計	58,780	60,976	2,195
その他有価証券評価差額金	179	176	△2
為替換算調整勘定	△596	△1,563	△967
退職給付に係る調整累計額	△509	△453	55
その他包括利益累計	△926	△1,840	△913
少数株主持分	4,522	4,621	99
純資産合計	62,375	63,757	1,381

# キャッシュフロー

2014年度上期補足

## 設備投資・減価償却・研究開発

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

### キャッシュフロー

(単位:百万円)

	営業活動による キャッシュフロー	投資活動による キャッシュフロー	財務活動による キャッシュフロー	現金及び現金 同等物の残高
2014年度上期	1,551	△3,998	1,924	6,211
2013年度上期	2,362	△3,531	1,074	7,402

### 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位:百万円)

	設備投資額	減価償却費	研究開発費
2014年度上期	4,002	2,523	976
2013年度上期	3,649	2,290	974

(設備投資額はキャッシュベースであります。)

# 目次

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

1. 2015年3月期第2四半期決算概要  
(以下、2014年度上期)
2. 2015年3月期決算見通し  
(以下、2014年度見通し)
3. 2015年3月期第2四半期決算補足  
(以下、2014年度上期補足)
4. **新工場建設・開発製品・新製品の紹介**

# 新工場建設の紹介

武漢工場建設

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 中国武漢 発泡ポリプロピレンビーズ工場「ピーブロック(英名ARPRO)」

中国全体 生産能力24,000トンへ



### 【背景】

- 富裕層が沿岸部から内陸部にも増加
- 自動車生産台数の増加
- 環境汚染の深刻化から車体の軽量化が進む

### 【新会社の概要】

- (1) 社名: 杰斯比塑料(武漢)有限公司(仮称)
- (2) 所在地: 中華人民共和国「武漢経済技術開発区」
- (3) 事業内容: 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売
- (4) 総投資額: 約12億円
- (5) 敷地面積: 21,000㎡
- (6) 建築面積: 7,920㎡
- (7) 生産開始: 2017年1月
- (8) 年間生産能力: 3,000トン

# 新工場建設の紹介

タイ工場建設

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## タイ 発泡ポリプロピレンビーズ工場「ピーブロック(英名ARPRO)」



### 【背景】

- 高倍率品の需要増
- 安定供給、営業力・技術サポートの強化

### 【新会社の概要】

- (1) 社名: JSP Foam Products (Thailand) Co., Ltd. (仮称)
- (2) 所在地: タイ王国「アジア工業団地」  
(バンコク市内東約30km)
- (3) 事業内容: 発泡ポリプロピレンビーズの製造及び販売、  
技術サポート
- (4) 総投資額: 約6億円
- (5) 敷地面積: 13,600㎡
- (6) 建築面積: 3,500㎡
- (7) 生産開始: 2016年1月
- (8) 年間生産能力: 1,800トン

# 新工場建設の紹介

ジャクソン工場内に新工場建設  
架橋PE発泡シート  
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 北米 架橋PE発泡シート事業への参入 均一で微細な気泡構造とその表面性能

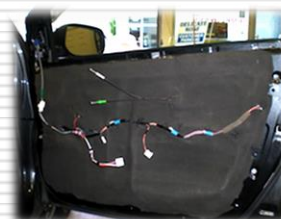


### 【新工場の概要】

- (1) 所在地: 北米ミシガン州ジャクソン
- (2) 事業内容: 架橋ポリエチレン発泡シート生産
- (3) 総投資額: 約10億円
- (4) 建築面積: 3,400㎡
- (5) 生産開始: 2015年1月



医療用テープ



自動車ドアシールド



ミラーガasket



フレキソ印刷  
マウンティングシート



ラミネート床下材

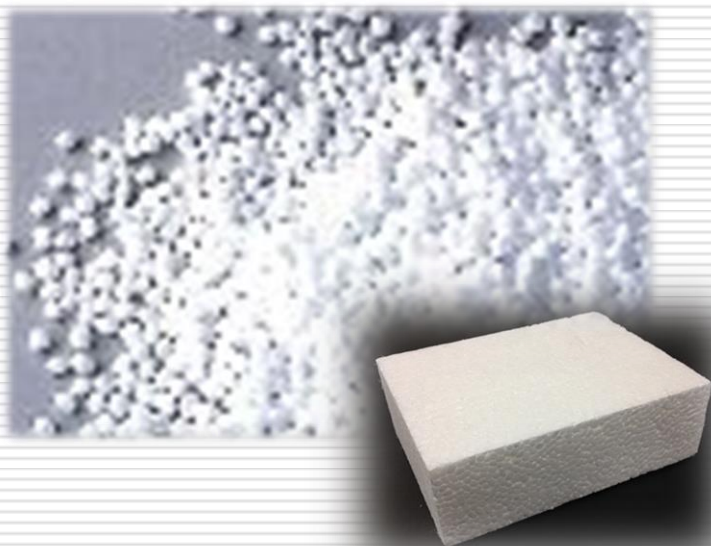


# 開発製品紹介

ポリ乳酸発泡ビーズ・発泡体LACTIF

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

環境にやさしい植物由来のポリ乳酸発泡ビーズ・発泡体「LACTIF」



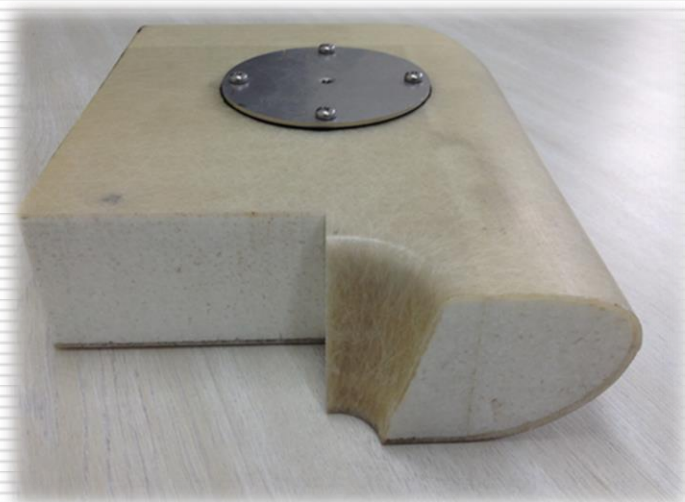
## 【特徴】

- 植物由来
  - 硬質発泡体
  - 成形での収縮が少ない
  - マテリアルリサイクルが可能
  - 高温高湿環境で加水分解
  - FRPとの接着性に特に優れる
- Fiber Reinforced Plastics  
ガラス繊維＋不飽和ポリエステル

## 用途開拓中

- ・太陽光発電等の再生可能エネルギー関連軽量化部材
- ・船舶・車両などモビリティ関連の軽量化部材

### 各種樹脂・金属・無機素材と発泡体との複合体「ACTech」



用途開拓中

LACTIF(植物由来のポリ乳酸発泡ビーズ発泡体)とポリエステル樹脂を複合化した太陽光発電装置の軽量化部材

#### 【ACTech とは】

当社独自の発泡体と熱硬化性樹脂を含む各種樹脂及び金属や無機素材を、当社独自技術で複合化させた複合部材製品群の総称

#### 【特徴】

- 発泡体の持つ圧倒的な軽量性、断熱性
- 複合化素材の強度、剛性
- 今迄に無い画期的な複合部材

# 開発製品紹介

光反射シート

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

極めて高い光反射率（100%に近い）「光反射シート」



液晶テレビ、LED反射板等

## 【光反射シートとは】

当社独自技術に拠り開発した、一方向に超微細な気泡構造を持つ無機発泡ガスを用いたPS系多層押し発泡シート

## 【特徴】

- 極めて高い光反射率（100%に近い）
- 真空成型による賦形が可能
- 独自の製造技術によるコスト競争力

# 新製品紹介

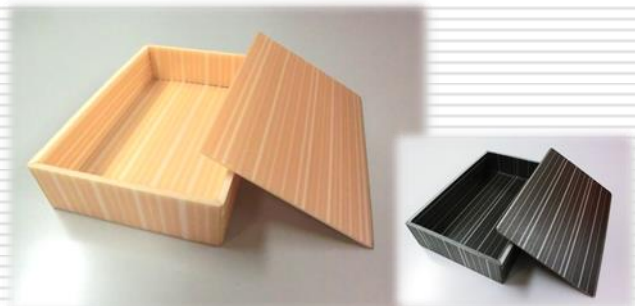
木目 スチレンペーパー  
ミラボード

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## フィルムを使わない木目模様付きポリスチレン発泡シート・ボード



PSP木目



ミラボードグレイ

- 印刷フィルムを使用しない  
世界初の当社独自技術によって印刷フィルムを使用することなく木目模様を付与
- 環境にやさしい  
印刷フィルムを使用しないため有機溶剤の揮発はありません
- 良好な成形性、加工性  
一般の製品同様に真空成形が可能  
強度は従来製品と同等

# 新製品紹介

ミラフォームラムダ

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

## 高性能・新次世代型断熱材「ミラフォームラムダ」

2020年住宅・構築物の改正省エネ基準の義務化に向けた需要増に大いに期待

**超高性能な断熱性**  
熱伝導率0.022W/m・K(23℃)を実現。  
吸水性が低く安定した性能を発揮します。

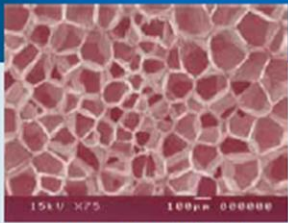
**高断熱のメカニズム**

気泡膜の新技术による  
放射熱の抑制・ガスバリア性UP

+

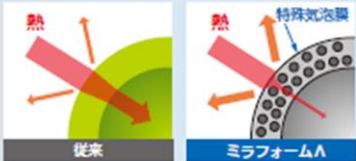
気泡形状による  
熱伝導の抑制効果

**超高断熱化の実現**



15kV X75 100µm 000000

ミラフォームA(ラムダ)の気泡写真



熱 熱 特殊気泡膜

従来 ミラフォームA

熱が気泡膜を透過するイメージ

**環境・健康・安全対策**  
ノンフロン・ノンホルムアルデヒド・4VOC基準に適合。

**優れた機械物性**  
ミラフォーム同様 曲げ強度(靱性)に高い性能を発揮。

▶規格

厚さ(mm)	25・30・40・50・55
幅(mm)	910
長さ(mm)	1820
表面状態・色	カットボード・シルバー



- **高性能な断熱材**  
熱伝導率0.022W/m・K  
吸水性が低く安定性能
- **環境・健康・安全対策**  
一般ミラフォーム同様  
(ノンフロン・ノンホルムアル  
デヒド・4VOC基準適合)
- **優れた機械物性**  
曲げ強度に高い性能

# 新製品紹介

ミラポリカフォーム

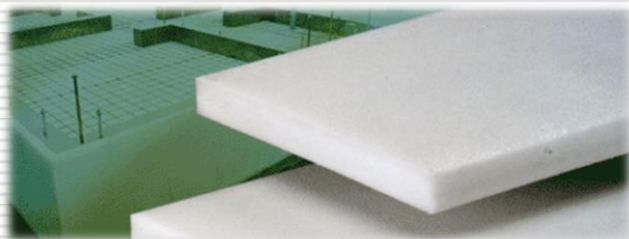
JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

ポリカーボネートを当社技術で発泡させた「ミラポリカフォーム」  
防蟻剤なしでシロアリに侵食されない唯一の発泡プラスチック断熱材



## 【特徴】

- 防蟻性に優れている
- 高い安全性
- 長期安定性
- 施工性に優れている
- 耐衝撃性が高い(靱性が高い)
- 耐熱性に優れている
- 自己消火性を有している



他素材との複合化による新用途開拓

- ▶ 小型風力発電の羽コア材
- ▶ 鉄骨代替素材等

# 株式会社JSP

JSP Corporation  
Engineered Plastic Foams

(ご注意)

本資料の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

お問い合わせ Tel 03-6212-6306 IR室

---